

## 庁内関係課による実施中の施策の整理（新規施策は今後追加）

### 【基本施策】

#### ■ ライフステージ別の基本施策

##### 1 乳幼児期（0～6歳）

#### 【主要な課題】

- ・ 好き嫌いのある乳幼児が多い
- ・ 保護者の生活リズムの影響による子どもの生活リズムの乱れ

#### 【目標および指標】

（目標）

- ・ 望ましい生活リズムを身につける

（指標）

- ・ 就寝時間が夜10時までの幼児の割合の増加
- ・ 食事を楽しみにしている幼児の割合の増加

#### 【対策】

（1） 妊産婦や保護者への食育 ※効果的な推進を図るため、実態把握から 対策の検討が必要

対策	区分	概要	主な担当課	主な実施主体
保護者を対象にした子どもの食に関する講習会の開催	継続	・ ボランティアやNPO等が実施する親子料理教室等において、保護者への食生活の改善の働きかけの実施	健康づくり推進課	食生活改善推進会 栄養士会
親子で食について学ぶ機会の充実	継続	・ 親子料理教室等で食の楽しさ、地域の食文化を学ぶ	健康づくり推進課	食生活改善推進会 栄養士会
妊産婦に対する食育の充実	継続	・ 出産前からの乳幼児期における望ましい食習慣を形成するための相談や指導の充実	健康づくり推進課	栄養士会

（2） 保育所・幼稚園等での食育

※ 保育所についてはこれまでの取り組みの充実を図るために、フォロー・支援体制の強化。

対策	区分	概要	主な担当課	主な実施主体
保育所・幼稚園・児童福祉施設等での指導体制の充実	継続	・ 食育に関する計画策定支援	子育て支援課	市町村 各保育所
	継続	・ 食育に関する人材育成や地域講習会等の開催	子育て支援課	
	継続	・ 施設長、栄養士、調理員、保育士等関係者に対する研修、個別相談・指導や連絡調整	子育て支援課	
	継続	・ 地域の人材を活用した食育の推進	子育て支援課	
保育所・幼稚園等における指導内容の充実	継続	・ 農業体験、調理体験・伝統食等の体験活動を通じた取り組みの推進	子育て支援課	幼稚園
	継続	・ 「おなかのすく子」をめざし、食と運動の両面からの体力づくりの取り組み	学校教育課	
保育所・家庭・地域との連携・協力による食育の推進	継続	・ 保護者に対する食に関する相談や講習会の開催	子育て支援課	市町村 各保育所
	継続	・ 地域の人との会食に関わる取り組みの推進	子育て支援課	市町村 各保育所

## 2 少年期（7～18歳）

### 【主要な課題】

- ・ 年齢があがるにつれて、朝食の欠食率が高くなる
- ・ 学校で学んだ食に関することが実践まで至っていない

### 【目標および指標】

（目標）

- ・ 朝食を毎日食べる
- ・ バランスのとれた朝食を食べる
- ・ 食に興味を持ち、学校で学んだことを実践する
- ・ 女子の適正な体重の維持

（指標）

- ・ バランスのよい朝食を食べる児童の割合の増加（小学生）
- ・ 朝食を毎日食べる生徒の割合の増加（中・高生）
- ・ バランスのよい食事について学校で学んだことを実行している生徒の割合の増加（中・高生）
- ・ やせの割合の減少（女子）

### 【対策】

#### （1）小学校・中学校・高校における食育

対策の方向性	区分	概要	主な担当課	主な実施主体
小学校・中学校・高校における指導体制の充実	継続	・ 食育を学校教育の指導方針の重点課題に位置づけ、全校（園）で取組推進	保健体育課	
	継続	・ 栄養教諭・学校栄養職員研修会の開催。新規栄養教諭研修講座の開催	保健体育課	
	継続	・ 学校医、学校歯科医などと連携し、栄養教諭・学校栄養職員を中心に教職員が行う個別指導の充実を図る	保健体育課	
給食を生かした食育の推進	継続	・ 学校給食における地産地消取り組みの推進、伝統食材の活用や米飯給食の普及・定着	保健体育課	
	継続	・ 給食だよりによる保護者に対する食の情報提供	保健体育課	

#### （2）小学校・中学校・高校における食育

対策の方向性	区分	概要	主な担当課	主な実施主体
地域・家庭と連携した取り組みの推進	継続	・ 学校食育推進委員会や学校保健委員会にPTAや地域保健の関係者の参加を得て、食に関する課題についての協議の促進	保健体育課	
	継続	・ 地域の公民館などで炊事などの日常生活プログラムや地域の体験活動を経験。（なら通学合宿事業）	協働推進課	
	継続	・ 農山村地域における郷土料理教室を通じて、参加者及びその保護者に対して各家庭での食育実践と認識を図る（小学校4年生～高校3年生）	青少年・生涯学習課	
	継続	・ 野外活動センター主催事業「ガーデンハウス in はやま」で、都祁吐山の郷土料理を中心にした、自然の中での料理体験	青少年・生涯学習課	

### 3 青年期（19～39 歳）

#### 【主要な課題】

- ・ 食生活に関する関心が低い
- ・ 生活習慣病に繋がる脂肪、食塩、野菜、カルシウムの摂取量は改善が必要

#### 【目標および指標】

（目標）

- ・ 朝食を毎日食べる
- ・ 食生活と生活習慣病の関わりについて関心を持つ。
- ・ 母子の健康確保のための食生活の実践（女性）
- ・ 適正な体重の維持（女性）

（指標）

- ・ 朝食を毎日食べる人の割合の増加
- ・ 食事バランスが悪いと思う人の割合の増加
- ・ 野菜摂取量を1皿分増加
- ・ やせの割合の減少（女性）
- ・ カルシウム、鉄分の摂取増加（女性）

#### 【対策】

##### （1）大学における食育

対策の方向性	区分	概要	主な担当課	主な実施主体
ヘルスチーム菜良による同年代への食生活改善への取組の推進	継続	・ 管理栄養士の臨地実習として食育イベントに企画から参加	健康づくり推進課	
	継続	・ 大学生による健康づくりを支援するサークルが、大学祭や県主催のイベントで食生活改善の普及啓発活動を実施	健康づくり推進課	

##### （2）職場における食育

対策の方向性	区分	概要	主な担当課	主な実施主体
「協会けんぽ」・地元商工会等と連携した事業所での食育の推進	継続	・ 事業所における昼食時の出前講座の実施	健康づくり推進課	
	継続	・ 給食施設と利用者への食育の実施	健康づくり推進課	

##### （3）地域でのとりくみ

対策の方向性	区分	概要	主な担当課	主な実施主体
商工会や商店街と連携した食育の推進・支援	継続	・ 健康なら協力店事業、情報提供を実施 (朝食提供店・ヘルシーメニュー提供店の充実・拡大)	健康づくり推進課	

#### 4 壮年期（40～64歳）

##### 【主要な課題】

- ・ 特に男性の生活の不規則による食生活の乱れ。
- ・ 食に関して学ぶ機会が減少し、マスメディアからの情報が中心となる

##### 【目標および指標】

（目標）

- ・ 生活習慣病予防のための食生活の実践。（適正な野菜、脂肪、食塩の摂取）
- ・ 適正な体重の維持

（指標）

- ・ 食事バランスが悪いと思う人の割合の減少
- ・ 野菜摂取量を1皿分(70g)増加
- ・ 肥満の割合の減少
- ・ カルシウム、鉄分の摂取増加（女性）

##### 【主な施策】

###### （1）職場における食育

対策の方向性	区分	概要	主な担当課	主な実施主体
「協会けんぽ」・地元商工連携した事業所の食育の推進（再掲）	継続	・ 事業所における昼食時の出前講座の実施	健康づくり推進課	
	継続	・ 給食施設と利用者への食育の実施	健康づくり推進課	

###### （2）地域でのとりくみ

対策の方向性	区分	概要	主な担当課	主な実施主体
商工会や商店街と連携した食育の推進・支援（再掲）	継続	・ 健康なら協力店事業、情報提供を実施（朝食提供店・ヘルシーメニュー提供店の充実・拡大）	健康づくり推進課	

## 5 高齢期（65歳～）

### 【主要な課題】

- ・ 加齢に伴う身体機能の低下に応じた食生活の見直し
- ・ 食を通じた食のコミュニケーションが希薄

### 【目標および指標】

（目標）

- ・ 良質のたんぱく質（肉や魚等）を十分に摂る
- ・ 適正な体重の維持
- ・ 家族や友人と食事を楽しんで食べる

（指標）

- ・ 食事バランスが悪いと思う人の割合の減少
- ・ 適正な体重の人の割合の増加
- ・ 家族や友人と食事をする人の割合の増加

### 【対策】

#### （1） 地域・家庭と連携した取り組み

対策の方向性	区分	概要	主な担当課	主な実施主体
介護予防事業と連携した食育の推進	継続	・ 介護予防事業の栄養改善や口腔機能向上の積極的な取組	健康づくり推進課	
食について学ぶ機会の充実	継続	・ 低栄養予防教室の開催	健康づくり推進課	
食を通じたコミュニケーションの推進	継続	・ 企業と連携した高齢者向きメニューの開発や食事会イベントの開催	長寿社会課	

## ■ ライフステージに横断的な食育

### 1 家族との食事を楽しむ食育

---

#### 【主要な課題】

- ・ 家族団らんで食を楽しむ機会の減少

#### 【目標および指標】

(目標)

- ・ 家族や友人と食事を楽しんで食べる

(指標)

- ・ 家族と夕食をとる中高生および若年男性の割合の増加（一人世帯者を除く）

#### 【対策】

##### (1) 家族団らんの食事の機会の充実

対策の方向性	区分	概要	主な担当課	主な実施主体
		(新規での取り組み)		

### 2 調理力の向上

---

#### 【主要な課題】

- ・ 自分で料理する男性が少ない

#### 【目標および指標】

(目標)

- ・ 自分で料理を作れる人の増加

(指標)

- ・ 自分で料理を作る中高生の増加
- ・ 自分で料理を作る男性の割合の増加

#### 【対策】

##### (1) 調理力を向上する食育

対策の方向性	区分	概要	主な担当課	主な実施主体
		(新規での取り組み)		

### 3 歯の健康の維持・向上

---

#### 【主要な課題】

- ・ 時間をかけてよく噛んで食べる人が特に働き盛り世代で少ない
- ・ 80歳になっても自分の歯を20本以上有する人は3割程度である

#### 【目標および指標】

(目標)

- ・ 時間をかけてよく噛んで食べる働き盛りの人の割合の増加
- ・ 80歳になっても自分の歯を20本以上有する人の増加

(指標)

- ・ 時間をかけてよく噛んで食べる働き盛りの人の割合の増加。
- ・ 80歳になっても自分の歯を20本以上有する人の割合の増加

#### 【対策】

(1) 学校や職場での歯の健康に関する食育

対策の方向性	区分	概要	主な担当課	主な実施主体
学校での歯・口腔に関する講座の開催	継続	・ 歯科医師や歯科衛生士による学校での出前講座	保健体育課	歯科医師会 歯科衛生士会

## ■ 食環境づくりに関する基本施策

### 1 食生活情報コンテンツの開発と効果的な提供

#### 【主要な課題】

- ・ 食に関する必要な情報を得られる環境が十分でない。
- ・ 食に関する事業者等における食育の取組が十分でない。

#### 【目標および指標】

(目標)

- ・ 食に関する情報提供の充実
- ・ 行事食や伝統料理、地域の食文化の理解の推進
- ・ 食の安全生の理解の推進

(指標)

- ・ 食に関する必要な情報を得られと感じる人の 増加
- ・ 地場や旬の食材を利用する人の割合の増加
- ・ 行事食や伝統料理に関心のある人の割合の増加
- ・ 食品表示に気を付けている人の割合の増加

#### 【対策】

##### (1) 情報発信

対策の方向性	区分	概要	主な担当課	主な実施主体
健康づくりに関する情報提供	継続	・ 朝食スピードクッキング、野菜たっぷりメニューの開発	健康づくり推進課	食生活改善推進員 ヘルスチーム菜良
	継続	・ 企業と連携した高齢者向きメニューの開発や食事会イベントの開催(再掲)	長寿社会課	
食の安全に関する情報提供	継続	・ 「奈良県食品安全・安心懇話会」の開催とリスクコミュニケーションの推進	消費・生活安全課	
	継続	・ 食の安全についての普及啓発の推進(HPでの情報発信、保健所による学校等での出前講座の実施)	消費・生活安全課	
	継続	・ 「食品表示110番」に寄せられた表示疑義情報に対して、調査・指導を行い、食品表示の適正化を推進	消費・生活安全課	
食文化・農に関する情報提供	継続	・ 奈良県産情報開示農産物の表示制度を普及	農業水産振興課	
	継続	・ 県産農産物のPR活動を奈良の歴史や観光と関連付けて実施	農業水産振興課	
	継続	・ 学校等での自発的協力者との食情報の提供活動を実施	農業水産振興課 保健体育課	
	継続	・ 奈良の食文化について「奈良のうまいもの」ホームページなどでの紹介	マーケティング課	
	継続	・ ホームページ等により、農林業農山村情報を都市住民へ発信	関係各課	
	継続	・ 大和の伝統野菜等の紹介およびそのレシピの情報提供	農業水産振興課	
	継続	・ 農に関する情報発信と体験の充実(食農教育)	地域農政課 農村振興課	

(2) 食生活情報コンテンツの研究等

対策の方向性	区分	概要	主な担当課	主な実施主体
		(新規での取り組み)		

2 食育の担い手などの食育資源の充実

【主要な課題】

- ・ 食育ボランティア同士の連携、協力体制、情報交換が十分でない
- ・ 食育に取り組む人材の資質・団体数など地域によりばらつきがある

【目標および指標】

(目標)

- ・ 様々な立場の食育の担い手を増やす

(指標)

- ・ 食育に関わる人の増加
- ・ 県産食品を扱う店舗、販売所の増加

【対策】

(1) 県民の食生活を支える事業者等による食育の推進の支援

対策の方向性	区分	概要	主な担当課	主な実施主体
生産者による食育推進の支援	継続	・ 「奈良のうまいもの(郷土・特産品料理)」の普及促進	マーケティング課	
	継続	・ 農産物直売所の支援による地産地消の推進	マーケティング課	
	継続	・ 県産品・ブランド農畜産物の販売促進	関係各課	
	継続	・ 食文化(郷土料理・伝統食等)の継承の取り組み推進	地域農政課	
食品関連事業所による食育推進の支援	継続	・ 商工会や商店街と連携した朝食提供店の紹介・支援	健康づくり推進課	
	継続	・ 小売店での地場産物の利用促進	マーケティング課	
	継続	・ 県産品・ブランド農畜産物の販売促進(再掲)	畜産課 マーケティング課 林業振興課	
外食事業者による食育推進の支援	継続	・ 健康なら協力店事業の充実、拡大(成分表示・ヘルシーメニュー・朝食の提供等)	健康づくり推進課	
	継続	・ 飲食店での地場産物の利用促進	マーケティング課	
	継続	・ 農商工連携等による起業活動などを通じた伝統的な食材や料理・加工品などの情報提供を実施	マーケティング課	

(2) 食育に取り組む人材の育成・支援

対策の方向性	区分	概要	主な担当課	主な実施主体
食育に取り組む団体・個人の活動の促進、支援	継続	・ 歯科医師や歯科衛生士に対する食育研修の実施	健康づくり推進課	歯科医師会 歯科衛生士会
	継続	・ 食品表示基礎講座の実施と食品表示サポーターの登録	消費・生活安全課	
	継続	・ 食生活改善推進員の資質向上のための研修会等の開催、技術支援(ボランティア)	健康づくり推進課	
	継続	・ 管理栄養士、栄養士の資質向上のための研修会、事業検討会等の開催	健康づくり推進課	
食育に取り組む人材の育成	継続	・ 管理栄養士の臨地実習として食育イベントに企画から参加	健康づくり推進課	
	継続	・ 県における食育の担い手の支援および活用	健康づくり推進課	
	継続	・ 「里づくりの達人(食の達人)」を登録し、要望に応じ派遣	農林部企画管理室	

3 市町村における食育推進の基盤整備

【主要な課題】

- ・ 食育推進計画を策定している市町村が少ない(22年度末で10市町村)
- ・ 市町村により取り組みに差がある

【目標および指標】

(目標)

- ・ 全ての市町村で食育推進計画を策定する
- ・ 食育の取り組み状況について情報交換等を行う場を設けなど推進の基盤を整備する

(指標)

- ・ 食育推進計画を策定している市町村の割合の増加

【対策】

(1) 市町村での食育推進計画の策定による基盤整備

対策の方向性	区分	概要	主な担当課	主な実施主体
計画策定支援	継続	・ 保健所職員を中心とした策定および推進の支援	健康づくり推進課	